


●パテックス フェルビナク メントールローション

【使用上の注意】

 使用上の注意 してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります)

1. 次の人は使用しないで下さい。
 - (1) 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状(発疹・発赤、かゆみ、かぶれ等)を起こしたことがある人
 - (2) ぜんそくを起こしたことがある人
 - (3) 妊婦又は妊娠していると思われる人
 - (4) 15歳未満の小児
2. 次の部位には使用しないで下さい。
 - (1) 目の周囲、粘膜等
 - (2) しっしん、かぶれ、傷口
 - (3) みずむし・たむし等又は化膿している患部



相談すること

1. 次の人は使用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。
 - (1) 医師の治療を受けている人
 - (2) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人
2. 使用后、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに使用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ、はれ、ヒリヒリ感、かぶれ

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けて下さい。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	使用后すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。

【解 説】

1.
 - (1) 共通事項解説〔1〕参照
 - (2) 医療用非ステロイド性消炎鎮痛外用剤において、ぜんそく発作の注意が記載されています。本剤には非ステロイド性消炎鎮痛剤のフェルビナクが配合されているので、ぜんそく発作の既往歴のある人は使用しないよう注意が必要です。
 - (3) 本剤は妊婦又は妊娠している可能性のある人での安全性が確立していないため使用しないこととしています。
 - (4) 本剤は小児への使用経験が少なく、安全性が確立していないため、15歳未満の小児には使用しないこととしています。
2.
 - (1) (2)これらの部位に本剤を使用すると、強い刺激感や痛みがあらわれたり、症状が悪化するおそれがあります。
 - (3) 本剤はみずむし・たむし等の白癬症や化膿など感染症に対しては無効であり、かえって症状が悪化するおそれがあります。
1.
 - (1) 共通事項解説〔4〕参照
 - (2) 共通事項解説〔7〕参照
2. 例示したような副作用症状が起こる可能性があります。これらの症状があらわれた場合には、症状の増悪や重篤な副作用への移行を未然に防ぐため、直ちに使用を中止し、使用している薬剤の成分等がわかる添付文書を持参の上、専門家に相談する必要があります。

下記のような重篤な症状があらわれたら、直ちに使用を中止し、医師の診療を受ける必要があります。

- ショック(アナフィラキシー)
重篤な症状解説〔1〕参照

●パテックス フェルビナク メントールローション

【使用上の注意】

3. 5～6日間使用しても症状がよくなる場合は使用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。

【使用法に関連する注意】

1. 使用法を厳守して下さい。
2. 15歳未満の小児は使用しないで下さい。
3. 目に入らないよう注意して下さい。万一、目に入った場合には、すぐに水又はぬるま湯で洗って下さい。なお、症状が重い場合には眼科医の診療を受けて下さい。
4. 外用にのみ使用して下さい。
5. 薬剤塗布後の患部をラップフィルム等の通気性の悪いもので覆わないで下さい。

【保管及び取扱い上の注意】

1. 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に密栓して保管して下さい。
2. 小児の手の届かない所に保管して下さい。
3. 他の容器に入れ替えないで下さい。(誤用の原因になったり品質が変わります)
4. 火気に近づけないで下さい。
5. 本剤は化学繊維、プラスチック類、塗装面等を溶かしたりすることがありますので、床、家具、メガネ等につかないようにして下さい。
6. 表示の使用期限を過ぎた製品は使用しないで下さい。また、開封後は使用期限内であってもなるべく速やかに使用して下さい。

【解 説】

3. 5～6日間使用しても症状の改善がみられない場合は、他の疾患や合併症も考えられるので、使用を中止し、専門家に相談する必要があります。

1. 共通事項解説〔8〕参照
2. 本剤は小児への使用経験が少なく、安全性が確立していないため、15歳未満の小児には使用しないで下さい。
3. 万一、目に入った場合、強い刺激を感じると共に、充血を起し腫脹をきたす等が考えられます。このような場合は直ちに目を水で洗い流し、薬液を取り除いて下さい。また、水洗いしても刺激がいつまでも続いたり、涙が止まらない場合には、眼科医の診療を受けて下さい。
4. 定められた投与経路、適用部位以外への使用は、思わぬ副作用や事故が発生するおそれがあります。
5. 本剤を密封療法で使用すると、患部の通気性が悪くなり、かぶれたり薬剤の浸透性が増加して刺激などがあられるおそれがあります。

1. 共通事項解説〔11〕参照
2. 共通事項解説〔12〕参照
3. 共通事項解説〔13〕参照
4. 火災、爆発等の危険を防止するため、火気に近づけないで下さい。
5. 本剤に有機溶剤(アルコール)が使用されているため、本剤が付着すると、化学繊維、プラスチック類、塗装面等を変質・変色させる場合があります。
6. 共通事項解説〔17〕参照